

リーディングDXスクール事業【実践事例】

能美市立辰口中央小学校（石川県）

【取組内容①】『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実に向けたICTの効果的な活用

- ①本時のねらいを達成し、つきたい力をつけるためにどんな場面でどのように端末を活用することが効果的かどうか
- ②個別最適な学びと協働的な学びを効果的にするための端末の活用法

【実践例①】4年算数科

自力解決場面→家庭学習で全員が求積方法についての考えをもつ→求積方法ごとに色分けしたカードに考えを記入し、他者の考えを視覚で理解できるようにした

児童に委ねる場面→他者参照し、話し合う相手を選ぶ→異なる考えを聞く意欲→根拠をもとに友達と説明し合い（学び合う）理解

番号の式や説明
まず、②と③を①のとなりへ移動します。次に①+②+③をします。最後に、その(①+②+③)の面積を求めたら十字型の面積が求められます。

番号の式や説明
①-②
まず②をあるとかんがえて全体を求めます。次に②を求めます。そうすると答えが出ます。

教師の適切な声かけ：交流する視点をもたせる。「どちらの考えがより早く求められるか」

児童に委ねる場面：十字型の図形の面積の求め方でよりよい方法のヒントカード用意→新しい考え（移動）に気付け学びが深まる→児童同士交流する中、実際に操作しながら説明し、より確かなものにした。

番号の式や説明
①-②
正方形であるとみてかどの面積を求めて次に十字の面積を求める

あ、いを動かして、知っている形にできないかな？

リーディングDXスクール事業【実践事例】

能美市立辰口中央小学校（石川県）

【取組内容②】『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実に向けたICTの効果的な活用

【実践例②】2年算数科

自力解決場面→根拠となる部分に印とキーワードを明記→図形の弁別（シートの色分け）

児童に委ねる場面→他者参照し、話し合う相手を選ぶ→異なる考えを聞く意欲→根拠をもとに友達と説明し合い（学び合う）理解

教師の適切な声かけ：児童の様子を見取り困っていることを全体に問う。「何本の直線か」「囲まれているか」など

児童に委ねる場面→今一度個にもどって考えたり、他の相手と考えを交流して理解を深める(自己調整)

授業最後の適用題を解く場面：児童が格子状の点にそつて書いた図形を撮影し、問題を作る→友達が作った問題を解き合い、多様な図形（多様な考え）に触れ、個の学びを深めた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

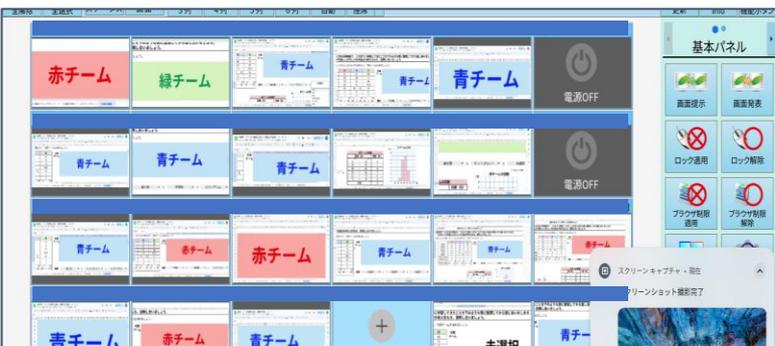
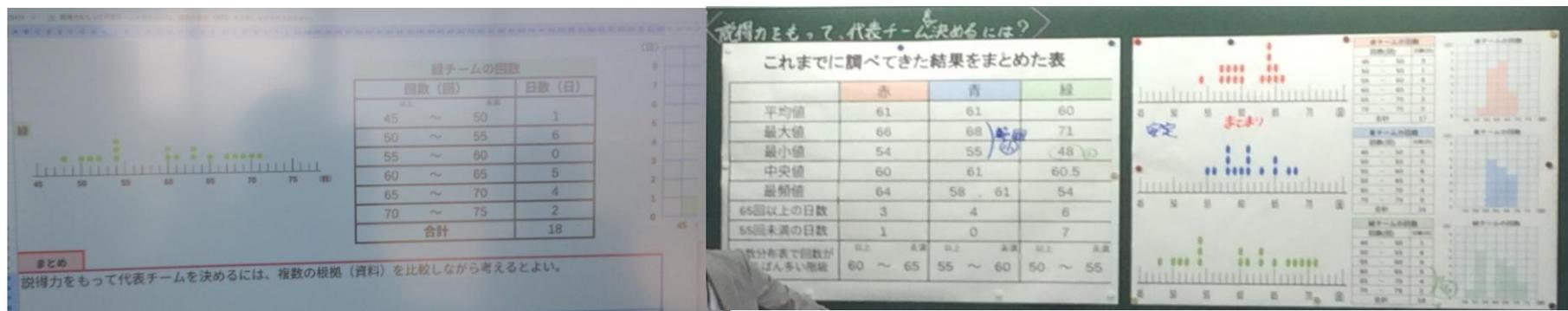
能美市立辰口中央小学校（石川県）

【取組内容】 教科のねらいと関連づけた情報活用能力の育成

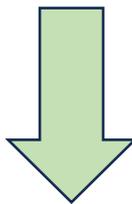
① 目的に応じた表やグラフを用いた情報の整理の方法（関数の活用）

【実践例】 6年算数 「データ整理と活用」

課題設定→実際に自分達で紙飛行機を飛ばしたデータを、関数を用いて平均を求めたり、多様なグラフ（ドットプロット・度数分布表・代表値）による整理



児童に委ねる場面→複数のデータの特徴や傾向（数学的な見方・考え方）を読み取り、それらを根拠とし、代表チームを選ぶことで相手を説得する力を増す。



教師の適切な声かけ：「最大値が一番高いから○チームが代表に決めよう」と問い返すことで、2つ以上のデータを根拠して組み合わせる必要があることに気付かせる。

児童に委ねる場面→複数のデータを根拠とし、比較・関連付け、そのデータから言えることを異なる考えの相手と考えを交流して理解を深める

リーディングDXスクール事業【実践事例】

能美市立辰口中央小学校（石川県）

【取組内容①】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

①家庭学習におけるICT活用推進

家庭がんばり週間を中心とした取組（全学級）→クロムを活用した課題を設定

取組前後の学年間での情報交流→課題の提示の仕方の工夫

【実践例①】2年（学習支援ソフト）



国語「身の回りのものを読もう」の学習

→学習したことをもとに、それぞれ身の回りにある看板やマークを調べ、写真等で提出する。提出した看板を共有することで意欲も高まり学習の広がりも見られた。学校での学びが児童の生活の中にも生きるような課題設定をしてある。

【実践例①】2年（学習支援ソフト）



算数「繰り下がりのあるひき算」

→ひっ算の仕方を確実に説明できるように、家庭学習に取り入れた。児童一人ひとりが、ひっ算の説明動画を撮って送ることで教師が児童の理解度を把握し、個別の支援ができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

能美市立辰口中央小学校（石川県）

【取組内容②】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

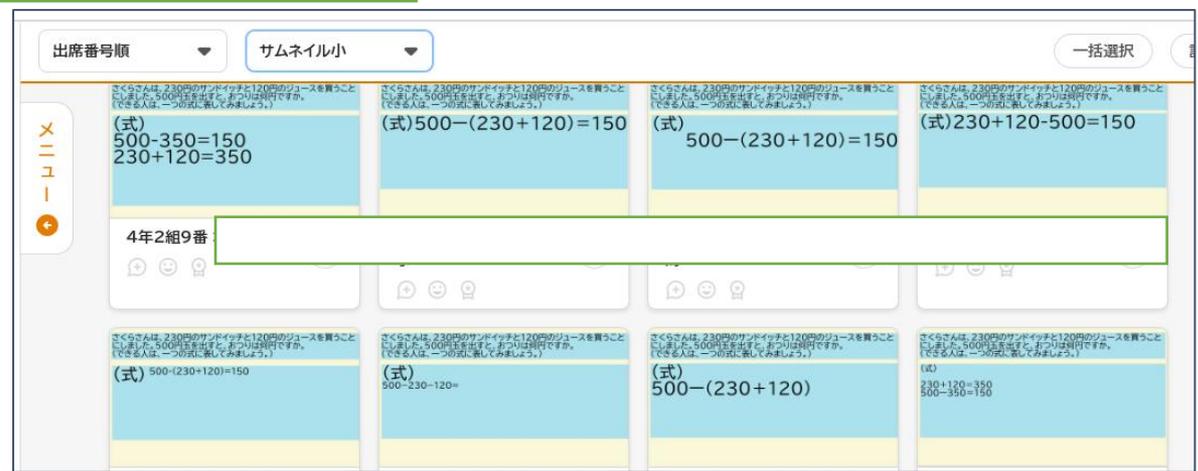
②「反転学習」の推進（クロムブックを活用し、家庭で授業導入部を実施し、それを基に授業を始める）

家庭学習がんばり週間を中心とした取組（全学級）→クロムを活用した課題を設定

取組前後の学年間での情報交流→課題の提示の仕方の工夫

【実践例②】4年 算数

反転学習として学習支援ソフトに自分の考えを書き、提出する。教師は事前に児童の考えを見取り、授業の組み立て、個別の対応に活かせる。



【実践例③】6年 社会

2. (①) 時代、中国から (②) づくりが伝わり、指導者を中心にむらづくりが行われた。稲の穂を刈り取るために写真のような (③) を使うようになった。

(①) (②) (③) にはまる言葉の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

- ①縄文 ②土器 ③つり針
- ①弥生 ②土器 ③石包丁
- ①古墳 ②土器 ③くわ
- ①縄文 ②米 ③かめ杵
- ①弥生 ②米 ③石包丁

2. (①) 時代、中国から (②) づくりが伝わり、指導者を中心にむらづくりが行われた。稲の穂を刈り取るために写真のような (③) を使うようになった。

正解 33/37 件

| 選択肢 | 人数 | 割合 |
|--------------|----|-------|
| ①縄文 ②土器 ③つり針 | 0 | 0% |
| ①弥生 ②土器 ③石包丁 | 1 | 2.7% |
| ①古墳 ②土器 ③くわ | 1 | 2.7% |
| ①縄文 ②米 ③かめ杵 | 2 | 5.4% |
| ①弥生 ②米 ③石包丁 | 33 | 89.2% |
| ①古墳 ②米 ③掘削 | 0 | 0% |

反転学習としてNHK for schoolの動画を視聴し、Google formsで作成したテストに回答する。テスト機能とロックモードを活用し、児童採点するように設定。授業内では動画を視聴する時間の確保が難しいが、家庭学習にすることで楽しみながら復習・予習につながる。